

Embassy of Japan in Jordan Press Release



松本尚外務大臣政務官の UNRWA アンマン・ニュー・キャンプ（ワヒダー ト）訪問

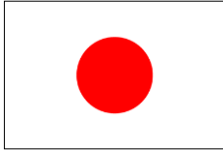
2025 年 1 月 14 日、松本尚・外務大臣政務官はアンマン・ニュー・キャンプを訪問し、パレスチナ難民キャンプの状況や国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）による活動やサービスを視察しました。

松本政務官は、浅利秀樹駐ヨルダン大使及び代表団と共に、UNRWA のヨルダンでの活動と、特に最近の情勢により若年層が直面する精神面への影響を中心に、最近の地域情勢がパレスチナ難民に与える影響について説明を受けました。続いて保健センターを査察し JICA が支援する母子健康手帳の説明を受けながら施設を視察しました。

松本政務官は、UNRWA 職員による献身的な努力を称え、UNRWA は、パレスチナ難民に対して実施中の人道支援・医療・教育分野で不可欠な役割を果たしていると述べました。

UNRWA ヨルダン事務所のオラフ・ベッカー所長は、UNRWA に対する日本政府からの継続的な政治・財政支援に感謝を述べました。さらに、この非常に困難な時期に 10 万人を超えるパレスチナ難民の児童・生徒への教育・保護・心理社会サービス分野への日本からの支援の重要性について述べました。

日本政府は、UNRWA の最も古いパートナーです。直近では 2024 年 4 月から 2025 年 3 月に実施中の「ヨルダンのパレスチナ難民に対する教育、心理社会的支援、保護に関する喫緊の人道支援」プロジェクトに、332 万ドルを拠出しています。



Embassy of Japan in Jordan Press Release

